

第5回まちづくり市民協議会会議録

日時：令和3年4月21日（水）18時30分～

会場：光市役所3階 大会議室1・2・3階

出席者 委員 28名（欠席 9名）
事務局 7名

1 会長あいさつ

本日は令和3年度最初の会議となるので本年度もよろしくお願ひしたい。

先月の3月11日、この日は私たちにとって忘れることの出来ない日である。我が国のかげがえのない多くの命が失われ、東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から10年の歳月を迎えた。改めて被災されましたすべての方に心よりお見舞い申し上げます。

震災から10年の月日が経ち、震災時の復興はライフライン、インフラの整備など着実に前進しているが、当時を振り返ると、現地の地震や津波の状況、原発事故といった言葉を失う光景を突きつけられ、自然災害の脅威の前では時に無力でありながら、その無力さを自覚しつつも自他の命を尊重し、ともに助け合いながら生き抜こうとする方々の底知れない力強さを目の当たりにした。

何よりも人が人を思いやる優しさ、絆、遠くに離れていても相手を思う心の繋がり的重要性を改めて学ぶことができ、こうした教訓は新型コロナウイルス感染症によって社会に閉塞感が漂う中、社会的距離の確保が求められる現在にも相通ずるのではないか。

本年はいよいよ第3次総合計画が策定されることとなるが、自然災害への十分な備えとともに新型コロナウイルスに対してどのように対処していくべきか、委員の皆さんの英知を結集しながら様々な課題に対するより良いアイデア、ご意見等をいただきたい。

2 議題

(1) ワークショップ結果のまとめ（報告）

事務局よりワークショップ結果について説明ののち質疑意見等

→意見なし

(2) 令和2年度光市まちづくり市民アンケート結果について

事務局より資料に基づいて説明ののち質疑意見等

→意見なし

(3) 第3次光市総合計画について

事務局より資料に基づいて説明ののち質疑意見等

●委員

最後に話されたSDGsの理念の活用という項目の80ページだが、ここからの3ペ

一ぐらいはまちづくりのメンバーとして勉強する必要がある。SDGsは、学校で習ったわけではないが、世界共通の目標となっており、SDGsの本を知人が面白いと言っていたので、私たちも面白いという感覚で、勉強しながらまちづくりに活用出来たらと思う。

●委員

以前、まちづくり市民協議会委員をしていたことがあるが、その当時からかなり時間が経過しているものの、将来像についてあまり進展していないのではないかと感じる。市民である我々も考えないといけないことであるが、光市は何を特長としてゆたかな社会を実現しようとしているのかよく分からない。教育や商工業の活性化がゆたかさにつながると思うが、どれだけ何をすればいいか明確でないと感じるし、高齢者の方々におけるゆたかさというのはどのようなものなのかについても分からず、こういった点については、これから議論をするのか、議論は終わっているのかといった点についても分からない。

●委員

本協議会は、市民の代表が集まっていることから、市民として思っていることを市に伝え、議論を行うまちづくりの場である。よって、様々な議論を続け、その内容を行政には適切に反映をしてもらおうという、まさにまちづくりを進めているところである。

●事務局

時代が進めば、豪雨災害をはじめとした自然災害への対応や新型コロナウイルス感染症への対応など、以前とは異なる課題に対する対応といった新たな部分もあるが、逆に変わらないものもある。具体的には、おっばい都市宣言、自然敬愛都市宣言、安全・安心都市宣言、この3つの都市宣言については不変の理念としてまちづくりのベースとなっている。この上に、その時代における様々な課題を解決するための施策などを積み重ねることでまちづくりに取り組んでいることをご理解いただきたい。

●委員

今後の人口減少を考えれば、市の財政構造がどのようになり、どの事業をやめなければならないのかということが問題となる。市長の掲げるビジョン、将来に何を残そうとするのかを基盤にしないと、今後の市の方向性が見えてこないと思うが、市長のビジョンは総合計画に反映されていくのか。

●事務局

市長のビジョンは選挙の中で市民に説明をしており、策定する総合計画にも市長のビジョンは反映する。なお、現在の第2次総合計画を策定した際も現市長のもとで策定していることから、ビジョン自体に大きな変更はなく、計画の表題にもある「ゆたかな社会」を実現するのが市長のビジョンである。「ゆたかな社会」のイメージは人それぞれであると思うが、総合計画の中では「ゆたかな社会」の実現に近づけるよう、市から施策や事業を提案しながら、不足している点等についてみなさまからご意見等をいただき、市長のビジョンを具現化していける総合計画を策定していきたいと考えている。

(4) 令和3年度予算の概要について

事務局より資料に基づいて説明ののち質疑意見等

●委員

会議全体を通してであるが、質問する時間が限られており、質問を遠慮している委員もいるのではないかと思うので、会議中に時間を確保するのが難しいのであれば、会議終了後に個別に質問し、その結果を次回の会議でフィードバックするなど、質問時間の確保について改善をしてほしい。

また、アンケートの集計結果は50歳代以上が大半を占めるなどしていることから、アンケート結果の読み方について考える必要があり、特定の世代に絞った評価ができないかと感じている。例えば、回答数が多くない年代がどのような意見を持っており、計画に反映できるような視点があるかというようなことなどが考えられる。

最後に、資料を紙ではなくデータで送付してもらえれば、検索等も効率的に行え、SDGsの面からも資源を有効活用することができるのではないかと思うので、検討していただきたい。

3 その他

○ 事務局から今後の予定等について連絡

- ・次回開催は6月24日（木）18時30分から予定している。
- ・今回は、次期総合計画の内容について、分野別計画等の説明を行う。

終了時刻 20時05分